

～バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症に関するお知らせ（第15報）～

当院では、感染症指導医及び東部保健所の訪問調査と指導を受け、VREスクリーニング検査の継続と感染防止対策に努めております。

2024年10月21日に入院患者様を対象とした一斉スクリーニング検査を実施した結果、陽性者は1名であり、新規陽性者はいらっしゃいませんでした。

今後とも、行政機関と相談の上、感染防止対策に努めてまいります。患者様及び関係者の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

2024年10月25日

伊豆赤十字病院 院長 吉田 剛

※バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症とは…

腸球菌は、人の腸内に一般的に存在する細菌で、本来効果のあるバンコマイシンという薬剤が効かなくなった腸球菌をVREと言います。多くの保菌者は無症状であり、健康な方が保菌しても病気を起こすことはありませんが、免疫低下が著しい患者様などの場合は感染症を発症することがあります。VREは、VRE保菌者の便から排出され、接触により伝播する可能性があるため、当院では手指衛生の徹底、手袋・ガウン（エプロン）の着用により感染拡大防止に努めております。